平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月30日

上場会社名　マガシーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3060　URL　http://www.magaseek.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井上　直也
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 田中　宏樹　TEL 03-5212-5296
四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,877	8.9	159	88.8	161	82.7	87	77.4
23年3月期第3四半期	6,316	4.8	84	△0.8	88	11.7	49	9.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4,133.84	—
23年3月期第3四半期	2,329.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	4,259	2,872	67.4	135,561.99
23年3月期	3,996	2,814	70.4	132,844.15

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期 2,872百万円　23年3月期 2,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,416.00	1,416.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				2,832.00	2,832.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	18.1	343	89.6	345	97.0	200	100.6	9,438.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　有
④ 修正再表示　：　無

（注）詳細は四半期決算短信（添付資料）３ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	21,190 株	23年3月期	21,190 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	21,190 株	23年3月期3Q	21,190 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成24年１月30日（月）に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）追加情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から徐々に回復に向かいつつありますが、欧州債務危機による金融不安や歴史的円高などにより、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する衣料小売業界におきましても、震災直後の消費の落ち込みからは回復基調にあるものの、厳しい残暑や11月から12月に掛けた記録的な暖冬など天候不順の影響もあり、全般的に厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、売上拡大のためにさまざまな施策に取り組んでまいりました。

10月には、雑誌で見つけた気になるアイテムをそのまま購入出来る、Android（注１）端末向けのAR（注２）検索アプリ『マガポ．』をリリースいたしました。現在、「InRed」「CanCam」「AneCan」の３誌に対応しております。各種キャンペーンにおいては、メンズのセレクトショップオープンと連動したeクーポンキャンペーンを実施、12月にはセール期に先駆け新規会員登録キャンペーンを実施いたしました。

これらの施策により、総会員数は、当第３四半期累計期間中に15万６千人増加し、平成23年12月末現在151万４千人（前年同期末比16.8％増）となりました。

以上の結果、当社の当第３四半期累計期間の売上高は6,877百万円（前年同期比8.9％増）、営業利益は159百万円（同88.8％増）、経常利益は161百万円（同82.7％増）、四半期純利益は87百万円（同77.4％増）となりました。

（注１）Androidとは、米国Google社のスマートフォン向けOS（オペレーティングシステム）です。

（注２）ARとは、現実の世界にバーチャルな世界を組み合わせることで、現実世界を拡張、増強する技術（拡張現実）です。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

① マガシーク事業

当事業は、ファッション誌に掲載された商品や人気ファッションブランドの商品をインターネットで購入できる総合ファッションECサイト「magaseek」を運営いたしており、当事業における平成23年12月末現在の取り扱いブランド数は603となりました。

なお、当事業で運営いたしておりましたファッションECサイト「magaseek」とメンズファッションECサイト「mfm」は、５月30日に統合し総合ファッションECサイト「magaseek」としてリニューアルいたしました。

当事業の施策につきましては、ファッション誌「GLOW」と共同で、オリジナルブランド「No4 closet」を開発、販売しました。また、年末には昨年のおおよそ２倍の福袋を用意し、予約販売をすることで実店舗と同等のサービス提供に努めてまいりました。

「magaseek men’s」サイトでは、ファッションブランド「mastermind」のファイナルに向けたカウントダウンマガジンのスポンサードを行い、マガジンと連動したTシャツの販売を行いました。また人気ブランドの先行受注会を実施するなど魅力的なコンテンツの発信を行ってきました。

９月からはビューティーアンドユース、シップス、アンドエー等のセレクトショップがオープンし、「URBAN」カテゴリーの品ぞろえ強化を図りました。さらに10月には、ファッション誌「Men’s JOKER」でBOOK in BOOKを実施し、誌面連動販売することで、セレクトユーザーの獲得に努めてまいりました。

また、９月より「FASHION FREAK TOKYO STORE」をオープン、「mastermind」の商品や「ART CONTEMPORARY STORE」として「tarout」の商品を販売しカルチャーコンテンツの育成を行いました。

以上の結果、当第３四半期累計期間の売上高は5,658百万円（同12.9％増）、セグメント利益は415百万円（同90.4％増）となりました。

② アウトレットピーク事業

当事業は、人気ファッションブランドをインターネット上において常時アウトレット価格で販売するECサイト「OUTLET PEAK」を運営いたしており、平成23年12月末現在の取り扱いブランドは306となりました（マガシーク事業と共通な取り扱いブランドを含む）。

東日本大震災では、当事業の営業倉庫の業務に大きな影響があり、一時営業を停止しておりましたが、４月８日より再開し、より魅力的で価値ある商品の拡充に努めてまいりました。

当事業の実施施策につきましては、期間限定ブランドセール販売、正月福袋の12月先行販売等を実施しつつ、今までの低単価中心の品揃えだけではなく、高単価、高感度アイテムの取り扱いを拡充していきました。しかしながら、セール期以外において、百貨店やファッションビル等の実店舗における値下げ販売の恒常化が加速していく中で、「magaseek」サイトにおいても値下げ販売を積極的に実施したため、アウトレット商品の需給に大きな影響を及ぼしました。集客増加のための対抗策として、新たなブランド導入等、ブランドの入れ替えを行うことにより、魅力的なアウトレット商品の増加に注力したものの、商品確保を十分に行うことができませんでした。

以上の結果、当第３四半期累計期間の売上高は1,215百万円（同6.4％減）、セグメント利益は39百万円（同6.0％減）となりました。

③ その他事業

広告事業等を行っており、当第３四半期累計期間の売上高は３百万円（同39.4％減）、セグメント損失は17百万円（前年同期はセグメント損失８百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産額は、4,259百万円となり、前事業年度末と比較して262百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金258百万円、売掛金554百万円及びソフトウエア122百万円が減少したものの、有価証券1,000百万円及びソフトウェア仮勘定175百万円が増加したことによるものであります。

負債総額は1,386百万円となり、前事業年度末と比較して204百万円増加いたしました。主な要因は、未払金が39百万円減少したものの、買掛金が244百万円増加したことによるものであります。

純資産は2,872百万円となり、前事業年度末と比較して57百万円増加いたしました。主な要因は剰余金の配当により30百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により87百万円増加したことによるものであり、自己資本比率は67.4％となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

第４四半期は元旦から開始した新春セールや、年末年始に一部地域で試験的に放映したテレビコマーシャルの効果により、売上および新規会員の獲得が好調に推移すると考えております。現時点において平成23年10月25日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」における通期の業績予想から変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

当社が保有する販売基幹システムに対応する工具、器具及び備品とソフトウエアは、従来、耐用年数を５年として減価償却を行っておりましたが、その一部について、第１四半期会計期間において、受注増加に対応するパフォーマンス向上を目的としたシステムのリニューアルをすることに伴い、耐用年数を３年に見直し、将来にわたり変更しております。

その結果、従来の方法に比較して当第３四半期累計期間において減価償却費が56,049千円多く計上され、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,059,025	800,419
売掛金	1,002,502	448,384
有価証券	601,302	1,601,840
商品	411,998	462,087
貯蔵品	4,285	8,616
前払費用	17,488	25,028
繰延税金資産	36,607	56,377
未収入金	29,881	23,007
その他	－	618
流動資産合計	3,163,091	3,426,381
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	28,173	26,072
工具、器具及び備品（純額）	183,960	133,671
有形固定資産合計	212,134	159,743
無形固定資産		
商標権	31,760	26,133
ソフトウエア	497,182	375,027
ソフトウエア仮勘定	9,485	185,116
その他	－	3,086
無形固定資産合計	538,427	589,363
投資その他の資産		
長期前払費用	245	246
繰延税金資産	5,675	6,008
敷金	77,261	77,368
投資その他の資産合計	83,181	83,622
固定資産合計	833,742	832,729
資産合計	3,996,834	4,259,110

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	717,318	961,562
未払金	282,001	242,100
未払法人税等	66,250	66,022
賞与引当金	19,201	－
返品調整引当金	5,706	7,185
ポイント引当金	16,009	55,726
その他	60,062	36,582
流動負債合計	1,166,550	1,369,178
固定負債		
退職給付引当金	9,776	11,755
資産除去債務	5,538	5,617
固定負債合計	15,315	17,373
負債合計	1,181,866	1,386,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,618	1,156,618
資本剰余金	755,625	755,625
利益剰余金	902,724	960,315
株主資本合計	2,814,967	2,872,558
純資産合計	2,814,967	2,872,558
負債純資産合計	3,996,834	4,259,110

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	6,316,055	6,877,615
売上原価	4,713,262	5,063,481
売上総利益	1,602,792	1,814,134
返品調整引当金戻入額	5,556	5,706
返品調整引当金繰入額	7,224	7,185
差引売上総利益	1,601,123	1,812,654
販売費及び一般管理費	1,516,650	1,653,158
営業利益	84,472	159,495
営業外収益		
受取利息	391	673
債務勘定整理益	－	1,052
法人税等還付加算金	3,229	－
その他	556	706
営業外収益合計	4,176	2,432
経常利益	88,649	161,928
特別利益		
固定資産売却益	160	－
特別利益合計	160	－
特別損失		
固定資産売却損	12	－
固定資産除却損	128	316
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	970	－
特別損失合計	1,110	316
税引前四半期純利益	87,698	161,612
法人税、住民税及び事業税	11,626	94,118
法人税等調整額	26,707	△20,102
法人税等合計	38,334	74,016
四半期純利益	49,364	87,596

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。